令和４年度　事業報告

《　法　人　》

１　重要な決議事項の経過

（１）理事会・評議員会

令和４年　６月　３日（金）　理事会

場　　所　　みずほの里　　大会議室

協議事項　　定時評議員会の招集について
令和３年度 事業報告について
経理規程の一部改正について
令和３年度 収支決算について
監査報告
令和４年度 １次補正収支予算について
役員等賠償責任保険契約締結の承認について
介護休業等規程の一部改正について

令和４年　６月２２日（水）　定時評議員会

場　　所　　定款第１４条第４項に基づき決議の省略（文書会議）

協議事項　　令和３年度　事業報告について
令和３年度　収支決算について
監査報告
令和４年度　１次補正収支予算について

令和４年　６月２８日（火）　臨時理事会

場　　所　　定款第３０条第３項に基づき決議の省略（文書会議）

協議事項　　評議員選任解任委員会委員の退任・選任について

令和４年１２月２日（金）　理事会

場　　所　　みずほの里　　大会議室

協議事項　　金銭出納管理規程の制定について
評議員選任解任委員会運営細則の一部改正について

令和５年　３月１０日（金）　理事会

場　　所　　みずほの里　　大会議室

協議事項　　評議員会の招集について

令和４年度２次補正収支予算について
令和５度　事業計画について
令和５年度　収支予算について
役員等賠償責任保険契約締結の承認について
施設長の任免について

令和５年　３月２２日（水）　評議員会
場　　所　　みずほの里　　大会議室
協議事項　　令和４年度２次補正収支予算について
令和５年度　事業計画について
令和５年度　収支予算について

（２）経営会議（月１回：計１２回）
理事等職務権限規程が定める理事担当業務の進捗管理、法人経営状況（収入管理、サービス管理等）に関する協議を実施した。

２　事業運営上生じた重要案件
運営上生じた重要案件はございません

３　監事監査、法人一般指導監査及び運営指導等における指摘事項
（１）内部監査　　10/6，7　（業務）
（２）監事監査　　5/19，20（会計・業務監査）
（３）法人監査　　なし
（４）運営指導　　ひいなの里（短期、通所 2/9　認知通所 3/3）

４　その他役員会等から報告を求められた事項
報告等の請求はございません

５　法人事業報告
（１）経営基盤の安定
法人全体の事業収入は、新型コロナ感染症拡大の影響で介護サービスの稼働が減少、サービス活動収益計（事業収入）は、昨年比　９９．４％となった。
各事業所でも感染症拡大の影響により事業収入が減少、在宅部門では利用控え等があり、短期入所生活介護や通所介護の稼働が減少した。

人件費は、令和４年度介護職員等ベースアップ支援等加算に対する支出があり、前年比１０２．３％となった。ウクライナ危機に伴う資材等の高騰及び原油価格の高騰の影響に伴い搬入する物品等の価格や納期にも影響が生じた。更に電気料金の高騰に伴う経費増となり、サービス活動支出計（事業支出）は、昨年比１０２．５％増となった。

当該年度は感染症に対する補助金や物価高騰支援補助金の給付はあったが、収益結果を大きく改善するものではなかった。四半期後半は、令和５年１月より電力会社を変更したことや電力料金へ政府系補助金が投入されたことで一部経費の改善が見られた。

令和４年度 収支差額は、感染症の影響により事業稼働が大きく減少したことやウクライナ・ロシア戦争勃発や原油高など外部環境によるコスト大幅増など、社会福祉法人にとっては大変厳しい経営となり、当期活動増減差額（利益）は、昨年比２４．４％と大きく減少となった。

令和４年度より設備修繕等に関する積立を計画、年間９６０万円の積立を実施、中期計画として将来の大規模改修工事や設備導入などに充当したい。

法人内の会務等については、経営会議・法人会議を定期開催、理事担当業務における管理体制として法令遵守・組織統治、財務管理、人事労務管理、リスク管理、人材教育研修管理、地域公益活動管理、介護サービス管理について進捗管理を実施した。

（２）施設整備

経年劣化等に伴う施設及び設備の更新工事等については、新型コロナ感染症による世界的なサプライチェーン（部品供給）への影響もあったが、当初計画・予算のとおり対応、設備等の保全に努めた。近年、劣化に伴う修繕等は増加している。

（３）法人本部事務局体制の確立

経営会議での検討の他、法人の諸課題や法人ＳＤＧｓ推進に向けた検討など若い世代を中心に経営企画室で協議を実施、ＳＤＧｓについては、各施設でも取組みができるよう新たな企画取組みを実施した。

組織統治に係る内部監査に実施については、組織風土及び利用者の権利擁護、金銭管理体制等を中心に実施、指摘事項に対して適宜、対応、体制の強化とサービスの質向上に努めた。

定例となる大口取引業者とのサービス検討会を開催し、委託サービス等の質確保に繋げた。

また、金銭取扱いに関する対応として規程の整備並びに金銭管理体制を再構築、取扱者には任命書の発出や取扱い方法の再研修等を実施した。

外部の会計事務所（財務支援）や社会保険労務士事務所（労務支援）の業務支援により適正な管理体制を構築した。

（４）人材育成

コロナ禍のなか、外部団体が主宰する研修会への参画自粛もあり、昨年度同様にＷｅｂリモートによる研修や感染状況を鑑み一部集合研修会へ参加、内部研修会は年間計画のとおり、新人職員研修会・階層別研修会（中級研修・上級研修・管理職研修）を開催、職員の質向上に努めた。

昨年度、再整備した新人職員の育成に係るプリセプター制度の運用により、関係者の関与・記録等の整備が行え、安定した指導として指導職員・法人巡回指導者の関与による定期打合せを実施した。

また、令和４年度 昇進者講習会と人事考課者の訓練研修を開催、外部講師（社会保険労務士）を招聘した。

（５）選ばれる施設・選ばれる職場

厚生労働省が定める若者支援策として離職者の低減、教育体制の整備、年次有給取得など一定の条件が必要な認定制度（ユースエール認定）を受審、山形労働局より認定があった。女性活躍支援（令和２年度くるみん認定）・介護事業者評価（令和３年度やまがた介護事象者認証）に併せ、労働環境下における法人の取組が評価された。

介護職員等ベースアップ支援等加算については、介護職員だけでなく、他専門職や非常勤職員も対象とした支給を行い職員全般の処遇改善を行った。

コロナ禍のなか、一部参加制限もあったが山形労働局及びハローワーク山形主催の就職セミナーや若者地域連携事業への参画やマイナビ２０２３新採就職サイト（インターンシップ含む）の利用などより新卒介護職員等の確保に至った。

また、介護職員実務者研修対象者８名へ奨学貸付制度による受講費用への一部貸付を実施した。

（６）ＩＴ化推進

感染症の蔓延期及び移動軽減のため、会議等で Web リモート機材を活用した。、

各拠点では Wi－Fi 環境下の中、タブレット等の活用を行い、業務効率の向上を図った。

令和４年度は、リクルート及び施設紹介を目的に動画作成を企画、法人ＨＰ委員会での検討等を実施、令和５年６月頃にアップ予定となる。

また、積極的な情報発信として法人ホームページやソーシャルメディアネットワークなどを有効活用し、地域貢献・施設の生活様子などコロナ禍にあっても情報の発信に努めた。

法人インスタグラムのフォロワー数は、現在７，１００件（昨年度６，１００件）を超え、引き続き山形県の社会福祉法人で一番のフォロー数となる。

（７）みゆき会グループ・関係機関との連携等

令和４年度は、四半期後半に河北町にある紅寿の里（みゆき会）とサービス向上

及び経営力の向上を目的に連携打合せ行った。

その他、関係機関とは感染状況を鑑み適宜、打合せ等を実施した。

（８）社会福祉法人としての公益的な取組みの検討

社会福祉法人として事業計画のとおり低所得者への利用者負担軽減を各拠点で実施、感染症の状況を鑑み、認知症カフェの開催などを実施した。

行政が主催する介護保険事業運営協議会や在宅医療連携推進会議、地域包括支援に関するネットワーク会議、介護保険事業連絡会等、福祉行政や地域福祉向上のため積極的に参画した。

自主事業としてコロナ禍のなか、昨年度同様に法人地域貢献委員会と拠点職員の連携により、外出支援としてミニツアー（温泉・会食など）を開催した。

また、山形県が主催する「キッズタウンやまがた２０２２」へ参画、福祉のお仕事理解と将来の福祉業界の人材確保のため「理学療法士ブース」を担当、約８０名の県内の小学生に実地体験等を行い福祉業界の理解等に努めた。

《　みずほの里　》

１　経営基盤の安定

長期入所平均稼働率９６．７％（前年９７．７％）、短期入所平均稼働率９０．４％（前年８９．８％）、通常規模型デイ平均稼働率７６．５％（前年８７．４％）、認知症対応型デイ平均稼働率５８．３％（前年５７．２％）、グループホーム平均稼働率９８．８％（前年９７．２％）、居宅介護担当確保１，１７４件（前年１，２３７件）となった。

令和４年度は、通常規模型デイサービスまる、グループホーム、長期入所において計３回の新型コロナウイルス感染のクラスターが発生した他、年間を通して全部署とも入退所やサービス提供を控えざるをえない状況があり稼働に影響が出た。特に通常規模型デイは新規の利用者が前年度の１５名から３８名に増えたにもかかわらず、繰り返す新型コロナウイルス感染対応による利用控え等により利用実績につながらなかった。要介護度が比較的軽いデイサービス等のサービス利用控えは、地域全体の課題となっている。

SDGs について「古着でワクチン」や「フードバンク」などの催しも行い、事業に関する持続可能性の意識化に取り組んだ。

経費節減、及び、適正なコスト管理について、12 ヵ月累計で事業費 18.0%（目標 15%以内）、事務費 10.2%（目標 12%以内）となり、経費節減に努めたものの収入の減少と諸物価高騰等により事業費の比率が目標を上回った。

（１）　長期入所（地域密着型特別養護老人ホームも含む）

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	２，９２０	３，０４６	２，９２８	３，０２４	２，９８６	２，８５４
平均入所者数	９７．３	９８．２	９７．６	９７．５	９６．３	９５．１
稼 働 率	９７．３	９８．２	９７．６	９７．５	９６．３	９５．１
平均介護度	４．１０	４．０６	４．１２	４．１２	４．１４	４．１５
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	２，９６２	２，８８３	２，９５３	２，９７８	２，６９９	３，０７７
平均入所者数	９８．７	９６．１	９５．２	９６．０	９６．３	９９．２
稼 働 率	９８．７	９６．１	９５．２	９６．０	９６．３	９９．２
平均介護度	４．１１	４．０５	４．０６	４．０９	４．０４	４．０７

① 延利用者数　　３５，３１０人
② 平均入所者数　　９６．７ 人／日
③ 平均稼働率　　９６．７％
④ 平均介護度　　４．０９（各月末時点平均）
⑤ 利用定員数　　広域型８０人、地域密着型２０人

長期入所待機者数　　（３月末現在）

	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	合計
上山市	１０	１９	６９	２６	１２	１４１
市　外	１	０	２	４	６	１３
合　計	１１	１９	７１	３０	１８	１５４

①　内訳（上山市内）　男性３７人　女性　１０４人

②　（上山市外）　男性　８人　女性　５人

（２）短期入居

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	５４６	５５６	５１７	５５３	５６１	５０９
平均利用者数	１８．２	１７．９	１７．２	１７．８	１８．１	１７．０
稼 働 率	９１．０	８９．７	８６．２	８９．２	９０．５	８４．８
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	５８４	５４１	５４２	５９５	５２３	５７８
平均利用者数	１８．８	１８．０	１７．５	１９．２	１９．５	１８．６
稼 働 率	９４．２	９０．２	８７．４	９６．０	９３．４	９３．２

①　延利用人数　６，６０５人

②　平均利用者数　１８．０人／日

③　平均稼働率　９０．４％

④　３月末登録者数　１１６人

⑤　利用定員数　２０人

（３）通常規模型デイサービスまる

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	６８１	６８６	６３９	４８８	６６１	６４８
平均利用者数	２６．２	２６．４	２４．６	１８．８	２４．５	２４．９
稼 働 率	８７．３	８７．９	８１．９	６２．６	８１．６	８３．１
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	６２３	５６４	５５９	５３２	４７３	５４９
平均利用者数	２４．０	２１．７	２２．４	２２．２	１９．７	２０．３
稼 働 率	７９．９	７２．３	７４．５	７３．９	６５．７	６７．８

①　延利用人数　７，１０３人

②　平均利用者数　２２．９人／日

③　平均稼働率　７６．５％

④　３月末登録者数　８７人

⑤　利用定員数　　３０人／日

（４）認知症対応型デイサービスはなまる

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	２１８	２００	１６７	１６６	１７１	１６９
平均利用者数	８．４	７．７	６．４	６．４	６．３	６．５
稼 働 率	６９．９	６４．１	５３．５	５３．２	５２．８	５４．２
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	１６７	１５８	１６９	１７６	１８５	２１５
平均利用者数	６．４	６．１	６．８	７．３	７．７	８．０
稼 働 率	５３．５	５０．６	５６．３	６１．１	６４．２	６６．４

①　延利用人数　　２，１６１人

②　平均利用者数　　６．９人／日

③　平均稼働率　　５８．３％

④　３月末登録者数　２１人

⑤　利用定員数　　１２人／日

（５）グループホームみずほ

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	５４０	５５８	５３４	５５８	５５８	５４０
平均利用者数	１８．０	１８．０	１７．８	１８．０	１８．０	１８．０
稼 働 率	１００．０	１００．０	９８．９	１００．０	１００．０	１００．０
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	５５８	５３３	５３５	５５６	４８５	５３３
平均利用者数	１８．０	１７．８	１７．３	１７．９	１７．３	１７．２
稼 働 率	１００．０	９８．７	９５．９	９９．６	９６．２	９５．６

①　延利用人数　　６，４８８人

②　平均利用者数　　１７．８人／日

③　平均稼働率　　９８．８％

④　平均介護度　　２．２５（各月末時点平均）

⑤　利用定員数　　１８人／２ユニット

（６）居宅介護支援事業所みずほ

介護度別ケアプラン作成件数　（単位：件）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
要支援１・２	４	４	５	５	５	５
要介護１	４０	３９	３６	３５	３３	３５
要介護２	２５	２５	３０	３１	３３	３２
要介護３	２２	２５	２５	２７	２６	２４
要介護４	８	７	５	６	５	５
要介護５	３	３	３	３	２	２
みなし	０	１	２	０	１	１
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
要支援１・２	５	５	５	５	５	５
要介護１	３５	３５	３６	３５	３８	３５
要介護２	３１	３１	３０	３１	２９	２６
要介護３	２６	２４	２４	２２	２１	２２
要介護４	５	５	５	５	４	７
要介護５	２	３	３	３	３	３
みなし	１	０	０	１	２	２

① 介護保険認定確保延人数　１，１７４人

② 介護予防認定確保延人数　５８人

要介護認定調査件数　（単位：件）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
在　宅	３	１	３	８	４	３
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
在　宅	１	４	３	２	６	２

① 年間調査合計４０件

２　施設整備

経年劣化による建物の補修と設備の修繕は、自動火災報知設備入替、井水ポンプ更新、厨房アルミ回転釜入替など、緊急性の高いものから行った。

ベッドについて、リショーネ（分離型ベッド（介護ロボット））がコロナ禍で製造終了となったため、当初計画による低床ベッド 2 台に加えてさらに低床ベッド 10 台を購入して入れ替えできた。

３　人材育成

6 月に開催された第 2 回法人課題取り組み発表会に参加し、研究発表に向けたスキルアップと研究的な視点を持つための課題の整理に取り組んだ。9 月発行の「み

ずほ・ながすずだより」で課題取組の内容を広く上山市民へお知らせする機会とした。

令和3年度から2年度にわたり法人プリセプター研修、中級職研修、上級職研修、管理職研修で職場づくりにつながるコミュニケーションスキルを全職員が学び、全部署で取り組んだ。また、施設内で個人目標作りを一部職員で試行し OJT の仕組みづくりを探求した。

新人職員育成のプリセプター制度において、巡回指導者と協力し課題を早期に把握し適切なサポートに努め、計画・目標に沿った新人育成を図った。

初めての試みとして日建学院山形校の介護実務者研修（通信教育）のスクーリング（対面授業）が法人内で開催され、みずほの里職員受講生 4 名全員（法人内合計 7 名）が修了した。介護福祉士取得に向けた法人内のサポート体制を構築できた。

その他、前年度に続き「お茶の水学院」の映像教材を施設内研修等でも活用し、また、研修・会議等さまざまなき機会にリモート機材を有効活用した。

4　選ばれる施設・選ばれる職場

陽だまり広場での小さな活動を臨機応変に開催し、コロナ禍における職員の負担軽減を図るとともに利用者の楽しみを創出した。カスタマ―ハラスメント（利用者・家族からのハラスメント）は、職員からの報告を基に施設として検討したケースがあった。コロナ対応のレッドゾーン（隔離）対策発生時は全職員が一致団結して助け合い、非常時において逆に職員同士・利用者家族との絆が深まる機会となった。高齢者雇用による 3 名の「介護助手」が 2 年目を迎え、継続して業務を補助してもらい労務環境の改善が図れた。朝礼時などの接遇の読み合わせを前年度より継続し、パート職員も含めて全部署で工夫して基本的な接遇と権利擁護の意識化に取り組んだ。人権擁護委員のアドバイスを受けてコロナ禍でも職員のウオーキングを実施したりヨガ教室を開催して、職員の安全衛生を図った。前年度に続けて「安全衛生委員会だより」で新人職員や異動職員等の紹介を行い、厳しい環境下でも職員交流の機会を作った。

リスクマネジメント委員会、排泄改善計画部会、食事検討委員会、褥瘡対策委員会などの委員会活動を基本ケアの充実につなげた。歯科衛生士による口腔ケア指導、言語聴覚士（ST）による食事場面での嚥下・摂食の指導なども継続し、ケアの改善に取り組んだ。看取り介護において、長期入所で２４名の退所中２０名を施設にて看取り、コロナ禍の状況においても利用者・家族のニーズに応えるよう努めた。在宅部門連絡会をながすずの里と合同開催し、市内の在宅サービスの課題を共有しサービス改善の検討等行った。

眠りスキャンを山形県の補助を受けて特養・短期入所部門のわかくさ通りに増設し、今後も毎年度にケアチームごとに増設する予定とした。新規利用者の体調把握、看取り利用者の状況確認、センサーマットとの併用によるリスク予防と介入タイミングの把握などに活用した。デイとグループホームにおける介護記録ソフトの使用を開始し、全部署の記録を電磁記録化できた。

科学的介護情報システム（LIFE）への取り組みを各事業所で実施し加算の取得を行なったが、国からのフィードバックが不足しケア改善につながる活動には至らなかった。

5　IT 化推進

前述のとおり眠りスキャンを山形県の補助を受けて特養・短期入所部門のわかくさ通りに増設し、今後も毎年度にケアチームごとに増設する予定とした。

広報委員会でホームページ等への情報発信に取り組んだ。

6　みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携強化

令和元年度から継続して上山市社会福祉協議会主催の生活支援サポーター養成講座の開催に上山市と連携し協力した。上山市ふれあい事業として受託開催している高齢者会食懇談会は、呼称を「陽だまりミーティング」に改め 2 年目を迎え、コロナ禍においても出前方式で長清水、本庄、宮生地区で民生委員の協力を得て開催できた。上山市社会福祉協議会、上山市の意向を受けた市内他法人と協働する高齢者の送迎支援は、介護予防教室の送迎に計画変更し次年度に開始予定となった。上山市、みゆき会の協力を得て４回目と５回目の新型コロナウイルスワクチンを速やかに利用者・職員に接種できた。

7　社会福祉法人（施設）としての公益的取組の推進

出前講座は感染対策を講じて公民館等で９回実施した。コロナ禍の中、夏祭り・敬老会・芋煮会・輪投げ大会は３年連続で施設内行事に切り替えて開催した。東小学校、あい保育園と自作の雑巾や作品のプレゼントを通して交流を行った。実習は職員と同等の感染対策を講じ、宮川中、米沢栄養大学、山辺高校、済生館高等看護学院から受け入れを行った。新たに職員１名が認知症介護指導者養成研修を修了して山形県認知症介護指導者が計 5 名となり、山形県認知症介護実践者研修等で講師を務めた。その他、職員が済生館高等看護学院や介護労働安定センター等で講師を務めた。要介護以外の方への車イス貸出事業は１件実施した。「みずほ・ながすずだより」を簡素化して年２回発行とし、市内全戸回覧により社会福祉法人としての公益的取り組み等の情報発信に努めた。

上山警察署のアドバイスを受けて防犯カメラの増設を行い、金銭管理体制も改めて防犯体制を強化した。

社会福祉法人の利用者負担軽減事業を１７名の利用者に対して実施し、自主事業としてのデイサービスの総合事業対象者１名へも負担軽減も行った。

８　その他

（１）　みずほの里 施設整備等

月　日	工事名等	請 負 業 者	金額（税込）
６月９日（木）	防犯カメラの増設	セコム㈱	385,000 円
６月１０日（金）	特浴部品交換（給水弁、ｷｬｽﾀｰ）	岡崎医療㈱	163,350 円
８月１８日（木）	自動井水ポンプ更新工事	㈱朝日工業社	2,530,000 円
８月１８日（木）	ユニット空調熱交換器修理(ｶﾞｽ漏れ)	矢萩ﾒﾝﾃﾅﾝｽ	451,000 円
９月８日（木）	自動火災報知設備入替工事	山形ﾆｯﾀﾝ㈱	4,400,000 円
９月２６日（月）	外灯 LED ランプ交換工事	東北電化工業㈱	110,000 円
９月１２日（月）	居室天井ドレンパン清掃	㈱朝日工業社	154,000 円
１０月３１日（月）	冷温水発生機ｵｲﾙﾎﾟﾝﾌﾟ交換	㈱朝日工業社	198,000 円
１２月３０日（金）	一般浴槽タイル張替え工事	羽陽建設㈱	99,000 円
１１月２８日（月）	誘導灯本体・バッテリー修理交換	山形ﾆｯﾀﾝ㈱	151800 円
１月１２日（木）	ユニット空調機圧縮機交換工事	矢萩ﾒﾝﾃﾅﾝｽ	396,000 円
２月１０日（金）	給湯発生器燃焼不良修繕（油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ）	㈱朝日工業社	198,000 円
３月１３日（月）	給湯発生機燃焼不良修繕（ﾀﾞｲﾊﾞｰﾓｰﾀｰ）	㈱朝日工業社	308,000 円
３月１４日（火）	コンベクションオーブン修理	ﾀﾆｺｰ株式会社	114,950 円
３月１日（水）	厨房アルミ回転釜の入替え	日本調理機株	660,000 円

（２）　みずほの里　諸行事

月　　日	行　事　名	会　　場	備　　考
４月６日（水）	あい保育園訪問（利用者作品お届け）	あい保育園	職員のみで対応
４月２９日（金）	牧野地区用水路清掃	牧野地区	職員５名参加
５月６日（金）	出前講座	宮生地区公民館	栄養講座
６月２８日～３０日	キャリアスタートウィーク	みずほの里	宮川中学校２年２名
７月１日（金）	合同慰霊祭（特養・ユニット・GH）	みずほの里仏間	上山仏教協和会寿仙寺様
７月５日（火）	不在者投票	みずほの里	特養・ユニット・短期入所
8/25 木～9/25 日	新型コロナワクチン４回目接種	陽だまりの広場	入居者・職員
８月２９日（月）	山辺高校介護実習受入れ（～9/9）	GH	３年生２名
９月１４日（水）	敬老会（特養・ユニット・GH）	みずほの里・GH	施設内行事
９月２６日（月）	人権擁護に係る意見交換会	みずほの里会議室	人権擁護委員３名来所
９月２６日（月）	米沢栄養大学隣地実習受入れ（～9/30）	みずほの里	３年生２名
１０月１２日（水）	防災訓練（日中想定）	みずほ・GH	職員（消防署参加なし）
１０月１９日（水）	陽だまりミーティング(ﾐｭｰｼﾞｯｸｹｱ)	長清水いきいきｻﾛﾝ	上山市委託事業
１０月２５日（火）	出前講座	南町いきいきｻﾛﾝ	ﾐｭｰｼﾞｯｸｹｱ

１１月７日（火）	輪投げ大会	みずほ・GH	施設内行事
１１月１０日（木）	陽だまりミーティング(ﾐｭｰｼﾞｯｸｹｱ)	本庄地区公民館	上山市委託事業
１１月１５日（火）	済生館高等看護学院実習生受入れ	みずほの里	1年生３名
１１月１７日（木）	陽だまりミーティング（栄養講座）	宮生地区公民館	上山市委託事業
１１月１７日（木）	ミニツアー	古窯・くっど山形	地域貢献行事
１２月１４日（水）	かみのやまカフェ（まじゃれ）へ参加	カミン	ﾐｭｰｼﾞｯｸｹｱ
12/29 木～1/12 木	オミクロンワクチン接種	陽だまりの広場	入居者・職員
２月７日（火）	出前講座	金生地区公民館	ﾐｭｰｼﾞｯｸｹｱ
２月１１日（土）	牧野地区より、手打ちそば提供	牧野地区公民館	施設内行事
２月２２日（水）	出前講座	本庄地区公民館	ﾐｭｰｼﾞｯｸｹｱ
２月２７日（月）	出前講座	矢来地区公民館	ﾐｭｰｼﾞｯｸｹｱ
３月７日（火）	出前講座	金生地区公民館	介護全般について
３月１４日（火）	出前講座	新町公民館	栄養講座
３月２３日（木）	出前講座	小倉地区公民館	ﾐｭｰｼﾞｯｸｹｱ

（３）アクシデント状況

報告書数　１,５３０件（内ヒヤリハット７６５件）

骨折事故等　　５件

（左手第３指骨折、左大腿部頸部骨折、左橈骨（とうこつ）・尺骨遠位端（しゃくこつえんいたん）骨折、右大腿骨頚部骨折、右第８肋骨骨折）

（４）苦情対応

苦情件数　　９件

（説明不足１件、職員の接遇に関すること４件、サービス内容に関すること２件、その他２件）

（５）車両事故

事故件数　　６件（内、人身事故　０件 ）

（敷地内の置き石に車体が接触した事故２件、対向車を避けようとして左折時にブロックに車体が接触した事故１件、降雪時に車道が識別できず脱輪した事故１件、降雪時の悪路でガードレールに車体を接触した事故１件、後進時にサイドミラーが電柱に接触した事故１件）

《ひいなの里》

１　経営基盤の安定

長期入所平均稼働率９４．７％（前年９７．２％）、短期入所平均稼働率９０．３％（前年９１．９％）、通常規模型デイ平均稼働率７９．１％（前年８０．６％）、認知症対応型デイ平均稼働率６５．３％（前年７３．１％）、小多機平均稼働率７６．７％（前年８５．７％）、居宅介護担当確保１，１３１件（前年１，１３９件）となった。

長期入所は待機者数の減少および入居前施設の新型コロナクラスター発生等で新規入居まで時間を要し目標未達となった。短期入所は利用者同居家族の新型コロナ感染により自宅待機となるケースが多く目標未達となった。通所介護は利用者同居家族の新型コロナ感染のほか、利用者本人の感染により自宅療養となるケースが相次ぎ１２月には縮小営業をせざるを得ない状況となり目標未達となった。認知症対応型通所介護は通所介護の低下稼働の影響で通所介護からの移行ができず目標未達となった。小多機は新規登録者はあったが特養入所や入院等による利用中止者も多く目標未達となった。居宅は上半期において特養入所、入院、逝去者が多く目標未達となった。

（１）長期入所

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	８５４	８２８	８３３	８３７	８５５	８１３
平均入所者数	２８．５	２６．７	２７．８	２７．０	２７．６	２７．１
稼 働 率	９８．２	９２．１	９５．７	９３．１	９５．１	９３．４
平均介護度	３．９	３．９	３．９	３．９	３．９	３．９
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	８３３	７８９	８１８	８５１	８１２	８９９
平均入所者数	２６．９	２６．３	２６．４	２７．５	２９．０	２９．０
稼 働 率	９２．７	９０．７	９１．０	９４．７	１００	１００
平均介護度	４．０	３．９	４．０	４．０	４．０	４．０

①　延利用者数　　１０，０２２人

②　平均入所者数　　２７．５人／日

③　平均稼働率　　９４．７％

④　平均介護度　　３．９４

⑤　利用定員数　　２９人

長期入所待機者数　　（３月末現在）

要支援等	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	合計
０	０	１	１５	１４	３	３３

① 内訳　　男性 １０人　　女性 ２３人

（２）短期入所

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	５９９	５６５	５７７	５９６	６３０	５７１
平均利用者数	２０．０	１８．２	１９．２	１９．２	２０．３	１９．０
稼 働 率	９５．１	８６．８	９１．６	９１．６	９６．８	９０．６
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	５６９	５３３	５３６	５９６	５５２	５９９
平均利用者数	１８．４	１７．８	１７．３	１９．２	１９．７	１９．３
稼 働 率	８７．４	８４．６	８２．３	９１．６	９３．９	９２．０

① 延利用人数　　６，９２３人

② 平均利用者数　　１９．０人／日

③ 平均稼働率　　９０．３％

④ ３月末登録者数　　１０１人

⑤ 利用定員数　　２１人

（３）通常規模型デイサービスひいな

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	５２９	５１５	４９３	４６７	４７９	５２２
平均利用者数	２０．３	１９．８	１９．０	１８．０	１７．７	２１．１
稼 働 率	８１．４	７９．２	７５．８	７１．８	７１．０	８０．３
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	５４４	５６１	４５２	４７２	５０６	５７０
平均利用者数	２０．９	２１．６	１８．１	１９．７	２１．１	２１．１
稼 働 率	８３．７	８６．３	７２．３	７８．７	８４．３	８４．４

① 延利用人数　　６，１１０人

② 平均利用者数　　１９．８人／日

③ 平均稼働率　　７９．１％

④ ３月末登録者数　　９４人

⑤ 利用定員数　　２５人／日

（４）認知症型デイサービスひいな

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	２３１	２１０	２１５	２０６	１９８	１９５
平均利用者数	８．９	８．１	８．３	７．９	７．３	７．５
稼 働 率	７４．０	６７．３	６８．９	６６．０	６１．１	６２．５
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	２１８	２１８	１９５	１７１	１７３	１９２
平均利用者数	８．４	８．４	７．８	７．１	７．２	７．１
稼 働 率	６９．９	６９．９	６５．０	５９．４	６０．１	５９．３

① 延利用人数　　２，４２２人

② 平均利用者数　　７．８人

③ 平均稼働率　　６５．３％

④ ３月末登録者数　　１８人

⑤ 利用定員数　　１２人／日

（５）小多機 hina

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
通い延人数	３９６	４２９	３９８	４２２	４７３	４６１
訪問延回数	１０２	１０４	５８	１３３	１５５	１５６
宿泊延人数	１８６	２０８	１８１	１９４	２１４	１７４
登録延人数	５８５	６２６	５２７	５８５	６６７	７１３
稼 働 率	６７．２	６９．６	６０．６	６５．１	７４．２	８２．０
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
通い延人数	４５０	３７６	３４３	４０２	４０８	４７１
訪問延回数	２０９	１９７	１５３	１６２	１２４	１７６
宿泊延人数	１８９	１８５	２０７	２０６	１５２	１８０
登録延人数	７４４	７２３	７３５	７７０	６９０	７５０
稼 働 率	８２．８	８３．１	８１．８	８５．７	８５．０	８３．４

① 通い延人数 ５，０２９人　訪問延回数 １，７２９人　宿泊延人数 ２，２７６人

② 平均登録数　　２２．２人／日

③ 平均稼働率　　７６．７％

④ 平均介護度　　２．４５

⑤ 利用登録者数　２９人（３月末登録者数２５人）

（６）居宅介護支援事業所ひいな

介護度別ケアプラン作成件数　（単位：件）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
要支援１・２	６	６	６	６	５	５
要介護１	２６	２８	２８	２８	２６	２６
要介護２	３０	３０	２６	２９	２９	２７
要介護３	２２	２０	１８	１８	１８	１６
要介護４	９	１０	９	１０	８	７
要介護５	１	１	２	４	６	６
みなし	０	０	０	０	０	０
事業対象	０	０	０	０	０	０
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
要支援１・２	５	５	５	４	４	４
要介護１	２５	２５	２８	２９	３１	３２
要介護２	２９	３０	２８	２６	２６	２３
要介護３	１６	１８	１９	１６	１６	１６
要介護４	９	１１	１３	１０	１３	１３
要介護５	６	６	６	８	８	９
みなし	０	０	０	１	２	４
事業対象	０	０	０	０	０	０

①　介護保険認定確保延人数　１，０７０人（みなしを含む）

②　介護予防認定確保延人数　６１人

③　事業対象認定確保延人数　０人

要介護認定調査件数　（単位：件）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
在　宅	４	１	３	５	２	３
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
在　宅	５	５	２	０	３	４

①　年間調査合計　３７件

２　施設整備

居室エアコンと居室ベッドの定期更新計画に基づき、居室エアコン２３台とベッド３台を更新した。そのほか故障により給湯器２台、厨房パススリー冷蔵庫・冷凍庫の更新を実施した。

年度末に特殊浴槽の故障があり来年度更新することとした。

３　人材育成

学卒の新規採用職員２名、経験のある一般の中途採用職員４名に対しプリセプター制度および法人巡回指導を活用し、数か月から一年をかけて育成を実施したが、マニュアルの整備や研修によって年々プリセプターの指導力の差が小さくなり指導が統一されてきた。また、巡回指導ではプリセプター、プリセプティー両者と面談し精神的な面でのサポートも充実できた。

外部研修派遣と施設内研修については、コロナ禍ではあったがリモートを活用し受講機会を確保することができた。

多職種の連携強化については、多職種参加の合同会議を開催しそれぞれの視点での考え方を共有することで新たな気付きが生まれた。

４　選ばれる施設・選ばれる職場

施設在宅部門連絡会では、利用者情報や空き情報を共有しながらその方にとって適切なサービス提供について協議し受け入れを推進した。

接遇・マナー力の向上については、コロナ禍で第三者の目がほとんど無くなったことから接遇係会により現在の接遇やマナー状況を確認し改善に取り組んだ。

河北町内でのみゆき会グループの介護サービス提供の充実を目指し、紅寿の里と連携するための協議を実施した。

５　ＩＴ化推進

法人ホームページのスタッフブログを活用し、入居者・利用者の生活の様子を随時お知らせした。

ＩＣＴ機器や環境を整備し、リモートでの研修に積極的に職員を派遣したり、入居者へのリモートでの面会を可能にしたりした。

介護ソフトの有効利用のため記録操作の再確認や記録様式の変更を実施した。

６　みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携の推進

みゆき会とは、河北町内における介護サービス提供の充実を目的に紅寿の里とひいなの里の連携強化のための会議の定期開催や情報の共有を実施した。

自治体とは、みゆき会病院に協力をいただきながら新型コロナウイルスワクチン接種について協議を重ね連携を密にして実施した。

地区の民生児童委員協議会の会議に招聘され介護事業所の説明、紹介を行った。

７　社会福祉法人（施設）としての公益的取組の推進

新型コロナウイルス感染防止対応のため、外部から人を招いての行事は開催できなかったが、地域高齢者宅訪問事業として対象者の自宅を個別に訪問し資料や粗品を配付したり、町内通所型サービスＢの３事業所に訪問しミュージックケアやラフターヨガを提供したりする取り組みを実施した。

また、町内地域食堂に施設の畑で採れた野菜を提供したり、食堂の手伝いのた

め定期的に職員を派遣したりした。

８　その他

（１）　ひいなの里　施設整備等

月　　日	工事名等	請 負 業 者	金額（税込）
5 月 17 日（火）	厨房ガス給湯器親機故障更新	矢萩メンテナンス	４６２，０００円
6 月 23 日（木）	あかね西冷蔵庫故障更新	港屋電器店	１１６，１６０円
7 月 6 日（水）	厨房ﾊﾟｽｽﾘｰ冷蔵庫・冷凍庫故障更新	(株)アイホー	９１３，０００円
7 月 12 日（火）	特養居室ｴｱｺﾝ定期更新（23 台）	矢萩メンテナンス	４，０４８，０００円
8 月 25 日（木）	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽガス給湯器故障更新	矢萩メンテナンス	４５１，０００円
10 月 19 日（水）	ときわ東ﾃﾞｲﾙｰﾑ TV 故障更新	港屋電器店	１３３，９５０円
11 月 7 日（月）	短期入所ガス給湯器故障更新	矢萩メンテナンス	５４４，５００円
11 月 22 日（火）	ときわ東ﾃﾞｲﾙｰﾑエアコン修理	矢萩メンテナンス	１３２，０００円
12 月 16 日（金）	居室ベッド定期更新（3 台）	岡崎医療（株）	８３９，３００円

（２）　諸行事、その他

月　　日	行　事　名	会　　場	備　　考
4 月 17 日（日）	要害地区資源回収	要害地区	職員 2 名派遣
4 月 21 日（木）	通所型サービス B 訪問	なでしこ広場	職員 2 名　参加者 10 名
5 月 25 日（水）	通所型サービス B 訪問	実家の茶の間	職員 3 名　参加者 13 名
6 月 21 日（火）	通所型サービス B 訪問	北星	職員 3 名　参加者 8 名
8/4.18 9/5 10/6 1/19	新型コロナワクチン接種	ﾕﾆｯﾄ／ｾﾝﾀｰﾎｰﾙ	入居者・職員
10 月 20 日（木）	車椅子贈呈式	地域交流ホール	山形ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ様より 1 台
10 月 21 日（金）	新型コロナワクチン接種	ﾕﾆｯﾄ／ｾﾝﾀｰﾎｰﾙ	入居者・職員
11 月 1 日（火）	一人暮らし高齢者宅訪問事業	独居等高齢者宅	資料・粗品持参
11 月 18 日（金）	総合防災訓練	ひいなの里/小多機	通報・避難・消火
3 月 17 日（金）	夜間想定総合防災訓練	ひいなの里/小多機	通報・避難・消火

（３）アクシデント状況

報告数　６７２件（内、アクシデント１８７件　ヒヤリハット４８５件）

骨折事故等　２件（腰椎圧迫骨折　左大腿骨頸部骨折）

（４）苦情対応

苦情件数　　２件

（５）車両事故

事故件数　　１６件（内、人身事故　０件 ）

《　ながすずの里　》

１　経営基盤の安定

特養平均稼働率９８．５％（前年９９．０％）、ＧＨ平均稼働率９８．２％（前年９８．５％）、小規模多機能平均登録稼働率９４．５％（前年９５．４％）、居宅介護担当確保１，０７７件（前年１，０８９件）となった。特養は退去後短期間での新規の受け入れを実施し目標を達成することができた。グループホームは、稼働率１００％の期間が６ヵ月あったが、１２月以降入院及び、退居が続き稼働目標は達成できなかったが、平均介護度は２．８９と目標値を上回ることができた。小規模多機能は、例年よりも新規利用（前年７件）が多かったが、１２名と入院者も多い（前年９件）ことが影響し、目標を達成することができなかった。

居宅介護支援は、介護保険施設への入居及び逝去による契約終了が多く目標を達成することができなかった。

経費節減、及び、適正なコスト管理について、12ヵ月累計で事業費14.1％（目標13％以内）、事務費9.3％（目標 10％以内）となり、経費節減に努めたものの諸物価高騰等により事業費の比率が目標を上回った。

ながすずの里サテライト化２年目の今年度は、在宅部門の連携の強化（みずほの里在宅部門含む）等を図り、拠点全体としては２期連続で収入予算の目標達成ができたが、エネルギー価格の高騰等による費用の増加に伴い、収支差額については目標を達成できなかった。引き続きみずぼの里、ながすずの里間での連携を強化し経営基盤の安定を図っていく。

（２）　地域密着型特別養護老人ホーム

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	８７０	８７７	８４５	８９７	８９９	８６７
平均入所者数	２９．０	２８．３	２８．２	２８．９	２９．０	２８．９
稼 働 率	１００	９７．６	９７．１	９９．８	１００	９９．７
平均介護度	４．２１	４．２８	４．３４	４．４０	４．４１	４．４０
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	８９２	８５９	８６０	８７９	８０４	８８０
平均入所者数	２８．８	２８．６	２７．７	２８．４	２８．７	２８．４
稼 働 率	９９．２	９８．７	９５．７	９７．８	９９．０	９７．９
平均介護度	４．３７	４．３４	４．３８	４．４３	４．４５	４．４５

⑥ 延利用者数　　１０，４２９人

⑦ 平均入所者数　　２８．６ 人／日

⑧ 平均稼働率　　９８．５％

⑨ 平均介護度　　４．３７　（各月末時点平均）

⑩ 利用定員数　　２９床

入所待機者数　　（３月末現在）

	未認定等	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	合計
上山市	０	６	１１	４５	１４	１１	８７

内訳　　男性　２５人　　女性　６２人　　※要介護３以上　７０名

（２）グループホーム

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用延人数	５４０	５４６	５４０	５５８	５５８	５４０
平均入所者数	１８．０	１７．６	１８．０	１８．０	１８．０	１８．０
稼 働 率	１００	９７．８	１００	１００	１００	１００
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
利用延人数	５５８	５０８	５４６	５２９	４９５	５３４
平均入所者数	１８．０	１６．９	１７．６	１７．１	１７．７	１７．２
稼 働 率	１００	９４．１	９７．８	９４．８	９８．２	９５．７

⑥　延利用人数　　６，４５２人

⑦　平均利用者数　　１７．７人／日

⑧　平均稼働率　　９８．２％

⑨　平均介護度　　２．８９

⑩　利用定員数　　１８人／２棟

（３）小規模多機能

利用状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
延通い人数	４５５	４３３	４３４	４５３	４０５	４０２
延訪問回数	３６９	３４６	３０５	２８８	２９１	２２５
延宿泊人数	２４８	２３０	２６１	２５４	２５３	２３６
延登録者数	８４０	８３７	８４８	８９６	８８７	８２６
稼 働 率	９６．６	９３．１	９７．５	９９．７	９８．７	９４．９
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
延通い人数	４３０	４５３	４７３	４４９	４１７	４３９
延訪問回数	２３２	２２０	２２２	２２７	２１３	２２１
延宿泊人数	２５２	２５３	２６５	２７０	２５０	２４２
延登録者数	８１９	７８９	８１７	８３７	７５６	８４９
稼 働 率	９１．１	９０．７	９０．９	９３．１	９３．１	９４．４

①　　延通い人数　５，２４３人　延訪問回数　３，１５９人　延宿泊人数　３，０１４人

②　　平均登録者数　　２７．４人／日

③　　平均稼働率　　９４．５％
④　　平均介護度　　１．８４
⑤　　利用登録者数　　２７人（３月末現在登録者数２７人）

（４）居宅介護支援事業所

介護度別ケアプラン作成件数　（単位：件）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
要支援１・２	４	３	４	４	８	９
要介護１	３４	３４	３６	３５	３４	３３
要介護２	２３	２４	２６	２６	２９	２６
要介護３	１９	２１	２１	２１	２３	２３
要介護４	１０	９	９	８	７	９
要介護５	３	３	３	３	３	３
みなし	０	０	０	０	０	０
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
要支援１・２	８	８	８	７	７	７
要介護１	３４	３２	３０	２８	２８	２５
要介護２	２７	２５	２５	２２	２０	２１
要介護３	２１	２０	１９	２０	１９	１６
要介護４	９	１１	１０	１０	１３	１３
要介護５	３	３	３	４	４	４
みなし	０	０	０	０	０	０

③　介護保険認定確保延人数　　１，０７７人
④　介護予防認定確保延人数　　７７人

要介護認定調査件数　（単位：件）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
在　宅	３	６	５	４	１	４
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
在　宅	４	４	９	５	４	３

②　年間調査合計　５２件

２　施設整備

保守契約に基づき機器等の点検を実施、４月に非常用発電機不具合部品交換及びオイル等交換実施している。その他ボイラー、空調室外機、給水給湯等の修繕実施している。

３　人材育成

令和４年度もキャリア段位の取り組みを実施、キャリア段位取得者２名の養成。資格取得については、認知症介護実践者研修３名、認知症介護リーダー研修１名、ユニットリーダー研修１名、介護福祉士１名、社会福祉士１名、介護支援専門員１名が資格を取得している。また、プリセプター制度及び法人巡回指導による人材育成を実施した。外部研修の参加については、コロナ禍において集合研修の開催が減少しているが、オンライン研修に積極的に参加し職員の専門性の向上に努めた。施設内研修においても、紙媒体・データベースを用いて専門研修等を実施した。また、昨年度に引き続き職場単位の課題解決のため取組み検討及び取組み発表会を実施した。中間管理職のマネジメント力向上について、法人主催の昇格者研修に対象者が参加しマネジメントの向上に努めた。

４　選ばれる施設・選ばれる職場

ケアマネジメントの充実について、長期入所部門において定期的に合同カンファレンスを開催し多職種でケアプランにおける短期目標の達成状況を確認し、随時目標を更新することでケアプランを意識したケアの実践を行なうことができた。

みずほの里との連携によるサービスの質の向上について、長期入所及びグループホームの入所申し込み（待機者）の一元管理を行ない生産性の向上及び、申し込み者の負担軽減を図ることができた。また、エビデンスに基づいた介護が求められるなかで、科学的介護情報システム（LIFE）への取り組みを年度当初から各事業所実施し科学的介護の推進及び LIFE に関わる加算の取得を行なうことができた。

接遇向上に向けた取り組みについて、接遇委員会を中心に個人及び事業所の接遇目標を設定、施設内外の研修に参加し接遇力の向上に努めた。

５　IT 化推進

コロナ禍で面会制限する機会が多いなか、SNS を有効活用し日々の暮らしの様子を発信し、利用者様のご家族へ生活の様子を伝えることができた。

介護記録端末の有効活用について、アクシデントリポート集計を記録端末ソフト今年度より実施。また、施設全体のスケジュール管理等記録ソフトを活用することにより業務効率を上げることができた。また、ICT 機器を整備することで、オンライン研修リモート会議等への参加促進を図ることができた。

６　みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携強化

他拠点との交流や介護部門連絡会等など専門性を持った連携を実施した。在宅部門連絡会をみずほの里と合同開催することにより事業所の空き状況や近隣事業所、利用

者様の情報共有を図ることができた。また、関係機関・行政との関係構築や連携を実施した。

7　社会福祉法人（施設）としての公益的取組の推進

社会福祉法人の公益的取組みとして、利用者負担軽減事業を２名の利用者に対して実施した。コロナ禍で地域の行事等も制限される機会が多かったが、長清水地区の資源回収など地域の活動に参加することができた。みずほの里で依頼を受けた地域の出前講座や陽だまりミーティング（市の委託事業）に職員を派遣し地域貢献活動を行なうことができた。前年度に続き、ながすずの里の畑で収穫された野菜を上山市内のこども食堂に提供し、地域食堂の食材として使用していただいた。かみのやまカフェ（認知症カフェ）について、今年度は毎月計１２回開催、みずほの里職員からの協力を得てさまざまなテーマでカフェを開催することができた。SDGs について FM 山形から取材を受け職員が出演し、その他「古着でワクチン」や「フードバンク」などの活動に取り組んだ。

8　その他

（1）　ながすずの里 施設整備等

月　　日	工事名等	請 負 業 者	金額（税込）
４月１５日（金）	非常用発電機修繕	石山電気管理事務所	３０４，７００円
８月　８日（月）	２F 浅葱系統空調機修理	矢萩メンテナンス	１１０，０００円
９月１３日（火）	２F 洗濯室乾燥機修理	岡崎医療㈱	１２５，７３０円
９月２９日（木）	清流東ノート PC 修理	㈱メコム	２１，４５０円
１１月　４日（金）	厨房系統給湯機水漏れ修繕	㈱朝日工業社	５５，０００円
１２月１５日（木）	GH 縹食器洗い乾燥機更新工事	㈱コメリ	１８３，０００円
１月１８日（水）	厨房スチコン修理	タニコー㈱	２３，３２０円
１月３１日（火）	２F 浅葱系統空調機修理	矢萩メンテナンス	５９，４００円
２月　９日（木）	倉庫ドアチェック交換工事	羽陽建設㈱	２８，６００円

（2）　ながすずの里　諸行事

月　　日	行　事　名	会　　場	備　　考
６月２３日（木）	防災訓練	ながすずの里	総合訓練（日中想定）
７月１２日（火）	法要	交流ホール	
８月１８日（木）	新型コロナワクチン接種４回目	交流ホール他	他 9/8 実施
９月　４日（日）	納涼祭（長期入所）	ながすずの里	

９月１６日（金）	敬老会	ながすずの里	同日芋煮会開催
１０月１４日（金）	家族介護教室（上山市委託事業）	上山市保健センター	
１０月２０日（木）	防災訓練	ながすずの里	総合訓練（夜間想定）
１２月２２日（木）	新型コロナワクチン接種５回目	交流ホール他	他 1/26 実施

（３）アクシデント状況

報告書数　８７５件（内ヒヤリハット５６２件）

骨折事故等　　３件

（大腿骨転子部骨折２件、恥骨・座骨骨折１件）

（４）苦情対応

苦情件数　　２件（サービスの内容に関すること等）

（５）車両事故

事故件数　　３件（内、人身事故　０件 ）